

主語は「子ども」令和5年度のスタートにあたり



今日4月7日は、これまでの暖かな陽気とは違って雨でのスタートとなりました。昨年度末で5名の先生方が転出・退職し、新しく6名の先生方を迎えました。



学校は、4月3日より今年度の教育に向けて会議等を重ねてきていますが、今日、久しぶりに子どもたちの元気な顔を見て、本当のスタートを切ることができたと感じています。新しい学年、新しい教室で新しい教科書を見ている子どもたちの表情からは、やる気や意欲があふれていました。



始業式では、私から、統合により今年度が竹田小学校の最後の年になることを伝えました。それに伴い今日の始業式も竹田小学校最後の一学期始業式。6年生は竹田小学校最後の

6年生。3月には竹田小学校最後の卒業生になることなど、1日1日が「最後の1日」になる話をしました。

だからこそ、1日1日を大切に、そして、ここにいるみなさんと前山小の子どもたちや先生方と力を合わせて、よりよい学校するための準備をする一年にしようと伝えました。次回、校長先生がみんなの前で話をする時には、『竹山小学校をこんな学校にしたい』という意見を聞きたいとも伝えていきます。

昨年度、児童民生委員の方々との話し合いで「学校は楽しい所じゃない、楽しくするところだ」と痛切に感じたのですが、学校の最後の年、また新たなスタートを切る年にあたり、主語は「子ども」であることを認識し、子どもたちが保護者・地域・先生方とともに、めざす学校を考え、誰もが当事者となる学校づくりをしていきたいと考えています。

保護者・地域の皆様には、今年度もこれまで同様のご支援を頂ければと思います。どうかよろしく願いいたします。



新しい先生方の着任式では、竹田小校歌を歌われる先生や挑戦することで身につけた倒立や縄跳びなどの技紹介など、それぞれに工夫した自己紹介がありました。また、お子様からお聞きいただければと思います。